

主催 福井工大「FUTまちづくりデザインセンター」
共催 みくに地区まちづくり協議会、三国コミュニティセンター

参加は無料
どなたでも
ご参加できます

被災を越えて対話から地域づくりへ ～新しいコミュニティを創る～

2月8日(日) 10:00~11:30

みくに未来ホール (三国町中央1-5-1
三国支所併設)

平成23年の東日本大震災で津波のため児童が犠牲になる大惨事になった大川小学校(宮城県石巻市)で一命をとりとめた当時の小学生や平成17年のJR福知山線脱線事故で九死に一生を得た乗客を招いての講座「被災を越えた対話、未来のまちづくりを考える」が2月8日(日)に三国コミュニティセンター(会場変更の場合もあります)で開かれます。

災害によって、いろいろなコミュニティが分裂することで、今後、「災害大国日本でどう生きていくか」「災害を踏まえてどのような地域を築いていくか」という大きな課題が問いかけてられています。

災害によって大きな困難を経験した人たちが、新しい地域づくりに向け前向きに取り組んできた人たちの知恵や生きざまを焦点に、講演やパネルディスカッションを行います。

災害を乗り越えたまちづくりのほか、津波の被災に襲われた大川小学校の当時の避難行動や犠牲者への思いなどと語ると同時に、これからの地域防災まちづくり、「復興」の姿を考えます。



東日本大震災の遺構として公開されている
大川小学校の校舎(2025撮影)

パネラー

- ・ **只野 哲也氏** (Team 大川・未来を拓くネットワーク)
大津波が襲った当時、大川小学校にいた児童74人が犠牲となった。助かった児童4人だけで、小学5年だった只野氏は津波に飲まれながらも助かった。現在、地域づくりに取り組んでいる。
- ・ **佐藤 秀明氏** (Team 大川・未来を拓くネットワーク)
小学校教員として只野氏をケア、支援し、只野氏とともにネットワークに参加し活動している。
- ・ **小掠 聡氏** (コトノデザイン)
平成17年、107人が犠牲になったJR福知山脱線事故で、ビルに激突し、原型がとどめないほど大破した2両目の乗客。現在は古民家での民泊を経営しながら地域づくり活動をしている。

司会進行

- ・ **竹田 周平氏** (福井工業大学教授)
みくにまち協の防災安心部会顧問を務めている。

スケジュール



10:00 オープニング
10:05 小掠聡氏の講演
10:30 只野哲也氏の講演
11:00 パネルディスカッション
11:30 クロージング

★お申込み・お問合せ

みくに地区まちづくり協議会(三国コミュニティセンター内)

Tel 82-6400

E-mail: mikuni-k@mx3.fctv.ne.jp

お電話受付: 月~金 9:00~17:00

※右記の専用フォームからのお申込みもできます。



☆申込み専用フォーム